

令和元年度第2回世田谷区入札監視委員会 議事概要

開催日時：令和2年2月6日（木）午後3時～4時30分

場 所：世田谷区役所第一庁舎2階入札室

出席委員：中川委員、三浦委員、竹内委員

事務局：財務部経理課

【会議次第】

- 1 開会
- 2 報告
本庁舎等整備総合評価等検討委員会の開催状況について
- 3 意見交換
(1) 工事請負契約にかかる23区の予定価格の公表状況及び平均落札率について
(2) 施工能力審査型総合評価方式について
- 4 閉会

【報告事項】

第1回、第2回本庁舎等整備総合評価等検討委員会での主な検討内容と検討状況について報告を行った。

【意見交換の概要】

区の入札及び契約手続における透明性、公正性の向上を図るため、手続きの運用状況等を踏まえて意見交換を行った。

(1) 工事請負契約にかかる23区の予定価格の公表状況及び平均落札率について

委員の主な意見・質問	区の主な説明・回答
<ul style="list-style-type: none">・落札率と工事成績は関係性があるのか。	<ul style="list-style-type: none">・あまり関係性はないと思われる。工事成績が良い業者は落札率に関わらず、良い点数がついている。
<ul style="list-style-type: none">・23区の状況から事後公表と事前公表で落札率にあまり差がないことが分かった。	<ul style="list-style-type: none">・落札率は差がないが、一般的に事後公表の方が不調件数は多くなる。
<ul style="list-style-type: none">・各区で落札率に多少バラツキがあるのは、最低制限価格の線引きの仕方が異なることが原因かもしれない。	<ul style="list-style-type: none">・なかには世田谷区と比べて低い金額で最低制限価格を設定している区もあると思われる。

(2) 施工能力審査型総合評価方式について

委員の主な意見・質問	区の主な説明・回答
<ul style="list-style-type: none">・災害時協力協定に準ずる協定としてこれまで一団体しか認定されていないことは不公平に感じる。準ずる協定を加点している区は、23区の中で世田谷区以外に1区のみであり、これを認めるよりは、他区に多く見られるような協定の実績を加点した方がいいのではないか。 ・総合評価方式の入札に適した入札規模というものがあるのだと思う。現在の評価方法は、どの規模が適正なのか考える必要がある。 ・工事成績評価点にかかる配点はマイナスをつけたりするなど、配点方法を変える必要があると思う。	<ul style="list-style-type: none">・準ずる協定については、これまでの実績では緊急時に急遽呼び出しをして対応してもらうような、委託契約を認定している。特定の業種の組合のみが認定されていることから、基礎点に差がつかず、結果的に価格点で落札者が決まってしまうことは認識している。 ・予定価格2500万円以上で技術力が求められるような工事を総合評価方式の対象としているが、事業者の理解を得ながらどのように改善していくかが課題だと認識している。 ・工事成績評価点は、どの工事も点数が集中しており、実質2点程度の差しかついている。